

生徒の心に灯をともし学校



狭山台中だより

学び合う生徒 考えて行動できる生徒 高め合う生徒

令和7年5月23日第2号

校長 早川 智也

狭山台中さわやか相談室

直通 ☎ 2958-7950

新年度 始動から6週間

新年度が始まって6週間が経過しました。生徒たちは新しい環境にも慣れ、落ち着いて授業に取り組む姿が見られるようになりました。今、学校では教科の授業のほかに、旅行的行事【 1年：校外学習6/3（火） 2年：宿泊学習6/1（日）～2（月） 3年：修学旅行6/21（土）～23（月） 】に向けての指導と準備が進められています。また、4月末からは1年生の部活動への本入部も始まりました。放課後の校内のそこかしこから元気な声が響き、どの部も意欲的に活動に取り組む様子がうかがえます。新しい環境の中で上級生と共に切磋琢磨しながら成長していってくれることでしょう。

去る4/14（月）には、全国学力学習調査が3年生を対象に実施されました。また、5/8（木）～12（月）にかけては、埼玉県学力学習状況調査が、全学年を対象に実施されました。今年度はどちらもタブレットによる画面上での実施でしたが、大きなトラブルなく終わることができました。（結果につきましては7月末～8月頃に届く予定です。）

また、4/22（火）には、第1回、5/13（火）には第2回の「学校運営協議会」が開催されました。今後も月に1回程度開催する計画です。（学校運営協議会の詳細と今年度の委員の皆様は下のとおりです。）会議では、本年度の学校経営方針が承認されました。方針の概要については、裏面にグランドデザインとして掲載しましたのでご覧ください。

学校運営協議会とは

学校と地域が連携・協働して学校を運営していくために設置される協議会です。学校運営の基本方針を承認したり、学校運営に関する意見を述べたりすることで、学校運営に地域住民の意見を反映させ、地域と一体となった学校づくりを推進します。

令和7年度 狭山市立狭山台中学校 学校運営協議会委員（敬称略）

委員長	岡村 哲史	元PTA会長
副委員長	大阿久 満	学校応援団 地域学校協働活動（SCSC）推進員
書記	小熊佳代子	元PTA副会長 学校応援団
委員	鈴木 美保	現PTA会長
	山田 恵一	狭山市学校支援ボランティアセンター（SSVC） 狭山台中コーディネーター
	杉山 照恵	狭山台公民館副館長
	今村 義浩	狭山市教育センター スクールソーシャルワーカー・元校長

令和7年度

狭山市立狭山台中学校

グラントデザイン

日本国憲法
教育基本法
学習指導要領
教育振興基本計画

めざす学校像
生徒の心に灯をともし学校
～一人も取り残さない学校を目指して～

- 狭山台中あたり前10か条
- 1 明るいきさつ元気な返事
 - 2 人の話をしっかり聞く
 - 3 思いやりの心
 - 4 時間を守る
 - 5 正しい服装
 - 6 正しい言葉遣い
 - 7 正しい言葉遣い
 - 8 自分の役割を果たす
 - 9 無言清掃「目黒清掃」
 - 10 時と場合に応じた行動

校訓 信頼 努力 協同

学校教育目標
学び合う生徒（知） 考えて行動できる生徒（徳） 高め合う生徒（体）

本年度の重点・努力点

- 学習規律の徹底と、学びを実感できる授業による学習意欲の喚起
- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 「何が出来るようになるのか」「何が分かるようになるのか」を明確にした授業
- 電子黒板、タブレットの有効活用
- 自主学習の励行

- 狭山台中あたり前10か条**の徹底
- 教育相談体制の一層の充実による不登校生徒の解消
- 思いやりや自己肯定感を高め、命の大切さを実感できる教育の推進
- 人権教育の充実による人権感覚の育成
- 清掃・緑化活動を一層充実し、自らの手でよい生活環境をつくる態度の育成

- 学校行事・生徒会活動等、特別活動の一層の充実
- 「目黒清掃」を通じた心身の錬磨
- 部活動への意欲的な参加の励行
- 安全点検に基づく、安全・安心な学校の実現
- 学校運営協議会等、地域の教育力との連携推進
- 小中一貫教育の推進



基本方針

- 全教職員の知恵と情熱を結集し、生徒一人一人の個性を尊重しつつ、確かな学力と豊かな人間性を育む。
- 地域社会との連携をすすめ、いじめや不登校などの現代的課題に組織的に対応し、すべての生徒が安心して自己実現できる学校づくりを推進する。



- めざす生徒像
夢に向かって自ら学ぶ
心豊かでたくましい生徒
- めざす教師像
・高い指導力と使命感を持ち
生徒と共に学び続ける教師
・人間性豊かで、生徒の個性
を尊重し、心に寄り添う
教師
・保護者・地域の願いを理解
し、共に歩む教師
・新しい教育技術を積極的に
活用し、変化する社会に
対応できる教師
・同僚と協働し組織的に課題
解決に取り組む教師